

115万ヘクタールの豊かな農地が広がり、冷涼な気候に恵まれた北海道は、日本の食料基地としての役割を期待されています。

この大地で事業を行う「ホクレン」(ホクレン農業協同組合連合会)は、北海道内のJAが出資し、JAの経済事業を担うことを目的としてつくられました。

事業内容は、農畜産物の集荷・加工・流通・販売を行い、消費者の皆さまに安全・安心・おいしい食品を提供し、

生産者・JAの方々にも農畜産物の生産に必要な資材・技術・情報を提供すること。

ホクレンは、これからも皆さまとともに日本の農業を担い、続けます。

## ホクレンの存立理念

北海道農業の着実な生産振興を図り、消費者に安全・安心・おいしい食品を提供することです。

## ホクレンマークの意味



全体の円は太陽を表すとともに、協同組合の永遠のテーマといえる人の和を示しています。  
大地はまさに農業そのものであり、そこに根をおろす大樹は未来への躍進の象徴。  
この樹は柏の葉をデザイン、実に強靱で緑の葉を絶やすことのない柏の樹は、未来への繁栄をも意味しています。  
また白い空間部分は、北海道の清澄な空気を表現しています。  
イラストレーターは、北海道の清澄な空気を表現しています。  
イラストレーターは、北海道の清澄な空気を表現しています。  
イラストレーターは、北海道の清澄な空気を表現しています。

# ホクレングループの活動

人と人がつながって、今日が明日につながっている、北海道の農業。

ホクレンは「うみだす」「ささえる」「とどける」「ひろげる」、

そして「はぐくむ」、5つのアクションをグループで連携しながら展開し、安全・安心・安心なおいしいさを守り続けていきます。

## うみだす

農畜産物の新品種から加工食品まで北海道から新しいおいしさをうみだすため、研究や開発に取り組んでいます。

## ささえる

生産者の方々をしっかり支援。北海道の農業を力強くささえ、日本の食を守り続けていきます。

## はぐくむ

健康で健全な食生活の実現に向け、地域の文化や環境を守り、子供たちの成長を応援します。

## とどける

北海道の農畜産物や加工品を全国の消費地へ、そしてお客さまの声を生産の現場へと届けます。

## ひろげる

北海道の安全・安心なおいしさをもっと多くの方へ、生産者の想いとともひろげていきます。

# うみだす

農畜産物の新品種、野菜を生かした加工食品、飼料に工夫のあるブランド肉など、北海道では新しいおいしさが次々に誕生しています。  
生産の現場をみつめながら、ホクレンは研究・開発、技術支援、販売促進など、さまざまな活動に取り組んでいます。

「ジャガイモ」ではなく  
品種名で呼んでほしい、  
今や多彩な馬鈴しょ。

おいしさを求めるお客さまの声、作業効率を重視する生産者の声などから、品種開発が進んだ農産物。その代表例のひとつは馬鈴しょです。昔から広く知られる「男しゃく」「メークイン」に加え、病害虫に強く食感がなめらかな「きたかむい」、ポテトチップス用の「ひかる」など、機能性に富んだ品種が普及しました。「一年中、北海道産の馬鈴しょを流



通させたい」と願い、CA貯蔵技術の研究にも取り組んでいます。CA貯蔵とは、青果物の呼吸活動を最小限にし、鮮度を保つ方法で、馬鈴しょに活用してみると、鮮度が維持できるだけでなく、糖度が増すことが判明。結果、新じゃがとは違う魅力をもつ「よくねたいも」が誕生しました。今後は貯蔵技術をほかの農作物にも応用し、付加価値のある商品の開発に取り組んでいきます。

